

# 日本語教育機関のための自己点検・評価項目

令和5年6月10日

学校法人 東アジア学園

日本語学学校

本校は、告示校として日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号2に規定されている教育水準の向上と適切な業務運営を継続させる為、自己点検及び自己評価項目を設定し、定期的に点検・評価を行う。

## 【評価】

※各項目評価方法は、5段階評価とする。(A～E)

①	達成している。	A
②	ほぼ達成している。	B
③	どちらともいえない。	C
④	取り組みを検討中。	D
⑤	改善が必要。	E

## 1. 教育理念・目的など

			評価
1	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	A
2	1-2	学校の特色は何か	A
3	1-3	学校の将来構想を抱いているか	A
4	1-4	理念に基づく教育が行われているか	B
	現状、具体的な取り組み及び課題	本校は、知性・想像力・感性の能力や素養を備え、国際人として自覚を持って地域社会に貢献し、国際的に活躍する人材を育成する必要があると常に考えております。世界の多様な文化を理解し、これからの時代に対応できる感性を養う教育を目指しながら、国際的に競争力を備えた優秀な人材を育成することを目的としています。本校は日本語教育のみならず、日本の文化・歴史・風俗習慣等を学習させ、日本語及び日本語教育への理解の場を提供し、新しい未来社会に向けて学生が着実に歩んでいける環境を作りたいと考えております。特徴は二つの知識を育成しようと考えています。一点目は創造を引き出す力、二点目は知識とその創造性を支える基礎的な知識です。日本語の教育に関して学生が自主的に学ぶ意欲や関心を尊重し、その能力を最大限に伸ばして、更なる世界規模での共生社会の創造と、世界に貢献できる人材を育成したいと思います。	

## 2. 学校運営

			評価
5	2-1	運営方針は定められているか	A
6	2-2	事業計画は定められているか	A
7	2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	A
8	2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	A
9	2-5	情報のシステム化等による業務の効率化が図られているか	A
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	B
11	2-7	危機管理体制は整備されているか	B
12	2-8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	A
現状、具体的な取り組み及び課題		<p>教務・事務との定期的な業務運営会議を開催し、常に効率的な運営をするように努めている。ITを使った在籍管理や授業で使用する資料の管理など業務の効率化は、随時進めている。所轄の八幡西警察署や北九州市役所と密に連携をとり、危機管理体制行っている。現在も新型コロナ対策として、現状も密な場所でのマスク着用を推奨している。災害時の避難誘導を周知している。災害時に関しては、台風情報や災害時の避難場所を案内している。しかしながら、周知徹底できていないところがあるので、メールおよび学生の携帯電話の把握を行っている。</p>	

## 3. 教職員

13	3-1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか	B
14	3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	B
15	3-3	教職員評価を行っているか	B
現状、具体的な取り組み及び課題		<p>職員、非常勤講師の採用時には必ず学校の教育理念、目的を説明して採用を決めている。新しく採用された講師に関しては、専任教師が、教案指導並びに模擬授業など及び専任授業の見学など、新人教育を3ヶ月間行っている。勉強会は、コロナ影響でやれませんでした。外部団体の講習会参加を予定しています。昨年度も教職員の面談やアンケートによる教職員の評価ができなかったため、今年度はしっかり実施していきます。</p>	

## 4. 教育活動

			評価
16	4-1	カリキュラムは体系的に構成されているか	A
17	4-2	授業評価の実施・評価体系はあるか	A
18	4-3	目標に向けて授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	A
19	4-4	成績評価は適切に行われているか	B
20	4-5	各種日本語試験の認定率向上のための指導体制はあるか	A
現状、具体的な取り組み及び課題		<p>2年間の学習で、N2～N3レベルに到達できるように、初級、初中級、中級、中上級、上級、の体系的なカリキュラムを編成している。主任教師のもとでの模擬授業や授業見学で各教師の具体的な改善点を明確にしている。学習評価は、試験、日常の授業の成績を総合して決定し、3段階評価とし、評価項目は、文法・文字・語彙、読解、聴解の3項目とし、評価点の点数配分は、学期末テスト70%、授業内テスト20%、課題提出率10%とする。日本語能力テストでB2取得のための適切な教材の準備をし、指導方法についての話し合いも常に進めている。成績評価については、月末テストの実施などで学生の達成状況がわかる形態を検討する。</p>	

## 5. 学生支援

			評価
21	5-1	進学・就職活動に関する体制は整備され、有効に機能しているか	A
22	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	A
23	5-3	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	A
24	5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	A
25	5-5	保護者と適切に連携しているか	B
26	5-6	卒業生への支援体制はあるか	A
27	5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	A
28	5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	B
現状、具体的な取り組み及び課題		<p>適切な時期に十分な進路情報を伝え、進路指導担当教師による個別の面談を経て、早めに進路が確定するようにしている。また生活指導担当職員が常に学生に声をかけ、細かい問題や悩みにも対応している。エージェントに対しても緊密に連絡をし、連携して指導を行っている。年に一回、健康診断を行っている。ベトナム、ネパール、スリランカの学生対応として通訳を配置して、学生の相談窓口となっている。</p>	

## 6. 在留指導と生活指導

			評価
29	6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	A
30	6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	A
31	6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	A
32	6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	A
現状、具体的な取り組み及び課題		取次者申請者及び学生対応教師を配置し適切な在留管理に努めている。在留関係、日本社会への理解、法令遵守等の理解を目的とし、入学時並びに定期的に、オリエンテーションを行い、出席率、学費の支払い方法、在留カード・保険証の更新や自転車交通マナーなどをしっかり指導している。また、住所の把握並びにアルバイトの状況調査を行い、データで管理をしている。入力・管理は管理者だけが見られるように保護している。また、生活改善の為の個別のカウンセリングも適宜行っている。八幡西署により自転車のマナーなど交通安全などの講習会を実施し、日本の法令遵守を徹底している。	

## 7. 学生の募集と受け入れ

			評価
33	7-1	学生の受け入れ方針は定められているか	A
34	7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	A
35	7-3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	B
36	7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	A
37	7-5	適正な定員設定及び在籍数になっているか	A
現状、具体的な取り組み及び課題		現地教育機関の仲介機関を介して、日本における進学、就職希望の学生の推薦を受けて、オンラインによる面接、選考合格者に入学を許可している。適正な定員のもと受け入れている。	

## 8. 財務評価

			評価
38	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
39	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
40	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	A
41	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	A

現状、具体的な取り組み及び課題	コロナ禍でありましたが、月次単位での予算管理が達成できており、財務 基盤は安定している。また四半期ごとに監査役による現金確認、棚卸し資産の確認も実施している。今後も税理士と連携し、適切な会計処理を継続 する。今年度は財務情報公開の体制を整備していきたい。
-----------------	---

## 9. 法令等の遵守

			評価
42	9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
43	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られている	A
44	9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
45	9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	A
46	9-5	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	A
現状、具体的な取り組み及び課題	日本語教育機関の告示基準に則って出入国管理が行われている。法務省より適正校としての認定を受けるべく業務を行っている。個人情報保護規定に関する取り組みは学校の個人情報取り扱い方針を教職員及び事務職員は理解し実施している。自己点検・自己評価の結果を公表する。関係省庁への報告は遅れる事があるので、遅延なく送れるように改善する。		

## 10. 社会貢献

			評価
47	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	B
48	10-2	学生のボランティア活動を奨励支援しているか	B
現状、具体的な取り組み及び課題	昨年度は新型コロナウイルスのため、十分な活動はできませんでした。しかしながら、令和5年1月に北九州市より本校でのフィリピン映画撮影の要請があり、ボランティアとして学生20名が参加しました。地域貢献ができたと思います。今後は、地域の清掃など積極的にかかわっていきます。また、学生へ地域ボランティアを紹介して地域活動などへの参加を促したいと思います。		